

INAP2013 高知会議開催

高知県土木部港湾振興課 主査 藤岡 秀規

2013年11月21日から23日にかけて、INAP2013高知会議が高知県で6年ぶりに開催されました。

INAPとは、1998年に設立された港を通じた国際ネットワーク組織(友好提携港国際ネットワーク(略称INAPイナップ))です。現在日本・高知港、スリランカ・コロンボ港、中国・青島港、フィリピン・スービック湾港及びセブ港、インドネシア・タンジュンペラ港、韓国・木浦新港の7港が会員となっており、毎年会議を通じて会員港間の交流を深めるとともにその活動を広げることに取り組んでいます。



高知城でお茶によるおもてなし

今年度のINAP会議は15回目にあたり、セブ港を除く6カ国6港からご参加いただき、「アジアの経済発展に寄与する港湾の成長戦略」をテーマに、21日に総会、シンポジウム、レセプションを開催しました。総会は、国指定重要文化財である高知城本丸御殿で開催し、日本の伝統文化であるお茶で海外の皆様をおもてなししたのち、会員港間で情報や意見の交換を行いました。午後のシンポジウムは、国際会議であるため基調講演及び港湾プレゼンテーション等を英語で行いましたが、一般県民や学生の皆様にも多数ご参加いただくことができました。夜のレセプションでは、よさこい踊りや山田太鼓、津野山神楽等の伝統芸能を披露し、高知の魅力を海外の皆様に分分に堪能いただきました。

また今回の大きな特徴は、21日から23日にかけて高知ちばさんセンターにおいて、経済交流の促進と多くの県民の参加を目指して「第2回ものづくり総合技術展&INAP2013アジアフェア」を開催したことです。この中でINAP会員港各国企業と県内企業とのビジネスマッチングを行い、単に港湾関係者の交流だけでなく海外企業と県内企業の経済交流に向けての活発な意見交換を行うことができ、実のある成果を上げることができたと考えています。ブース出展による各国の港湾・観光・物産・食等の紹介も行い、ちばさんセンター全体で約14,400人の来場者がありました。

加えて、期間中はジェトロ高知と共催で韓国から木材バイヤーを招へいして、土佐材の輸出商談会を実施しました。また、インバウンドによる国際観光の振興の取組として、INAP会員港各国の旅行エージェント招へいによる観光モニターツアーを実施し、本県の観光地を売り込むことができました。

来年度のINAP会議は、フィリピン・スービック湾港で開催されます。県内企業を募った経済ミ

ッションを派遣する予定となっています。県内事業者の皆様には是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

高知県では、今後もINAPのネットワークを土台に、INAP会員港各国との経済交流を進め、高知県の産業振興、地産外商につなげていきたいと考えておりますので、県民の皆様のご支援、ご協力を、引き続きお願いいたします。



「第2回ものづくり総合技術展&INAP2013アジアフェア」で披露された韓国伝統芸能「サムルノリ」



INAPシンポジウム



INAP会員港メンバーの記念撮影